

「財政の見える化」を推進



公明党は「財政の見える化」に向けて、党内に「公会計改革委員会」を設置して精力的に取り組みを進めています。

「財政の見える化」をすすると、国や自治体の資産の額や将来払わなければなら

ない負債の額、さらに公共施設やサービスに掛かっているコストなど、財政全体が明らかになります。

これにより税のムダ遣いがあぶり出され、事業を客観的に評価できます。職員の意識も変わ

公会計改革でムダ遣いあぶり出し

り、議会でも数字をもとに議論できるようになります。今、真に必要なのは「事業仕分け」よりも公会計改革です。

この「見える化」を可能にするのが、企業で行われ

ている複式簿記・発生主義会計への転換です。

例えば、東京都では都議

会公明党のリードで、2006年度より全国の自治体に先駆けて「複式簿記・発生主義会計」を導入しました。

これにより1兆円の隠れ借金が明らかになり、その解消に都を挙げて取り組

んだ結果、翌年度にはほぼ解消し、その後、都の財政が飛躍的に改善しました。

「財政の見える化」は、

国だけでなく全国自治体の取り組みも重要です。国と自治体で取り組めば、日本全体で税のムダ遣いがあぶ

りだされ、財政の見える化が進みます。

そこで地方議会改革のテーマの一つに「公会計制度改革」を掲げました。今、改革に取り組みたいという地方議員から続々と問い合

わせが来ています。

「財政の見える化」は、地方議員と国会議員との強いネットワークを持つ公明党だからこそ成し遂げられると思います。

公明のチーム力で「財政の見える化」に向けて全力で取り組んでまいります！

女性議員の

国政レポート

